



>> 全市分会代表者会議 >>

10月3日、大阪市教育会館にて全市分会代表者会議を開催しました。はじめに、吉川副委員長より大阪市人事委員会勧告に関わって、月例給・特別給ともに3年連続の引き上げ、扶養手当の見直し、そして、育児・介護等に関する法律の一部改正についての説明がありました。続いて、松岡委員長より文部科学省概算要求について、大阪市総合教育会議の案件「中学校における学校配置の適正化」「教育ICTの今後の展開」「教員の働き方改革の推進」についての説明と市教組としての考え方、教員研修記録に係る市教委との確認事項について、10月に行われた関西万博に関する説明会資料について、年度末人事異動に関する件についての説明がありました。三谷書記長からは特別支援学級設置について、府立高校の入試改革についての報告がありました。最後に、三谷書記長の「団結がんばろう」で会議をしめくりました。



「新学期が始まってどうですか？」

—青年部学習会—

9月10日に阿倍野市民学習センターで「新学期が始まってどうですか？」と題して学習会が開催されました。今年度より特別専科教諭が配置され、8月より多くの特別専科教諭が兼務校に異動しています。学習会では、特別専科教諭より多くの質問や意見が出され、松岡委員長からは「特別専科教諭の不安解消や待遇改善に向けて引き続き取り組みをすすめる」との決意が述べられました。なお、参加者からは次のような意見が出されました。

- ・ 8月から異動になったが、夏季休業中で教職員がほとんどいなくて引継ぎがうまくいかなかった。
- ・ 兼務校では、仕事がまったく違ってどうしていいのかわからなかった。
- ・ 次年度、兼務校に残るのか、年度当初の赴任校に戻るのかがわからなくて不安。
- ・ 7、8月に総合教育センターで説明会があったがよくわからなかった。

市教組は、これまで特別専科教諭からの要望を受け、教育委員会と協議を行い、①異動先（内示）を早期に発令する、②休職者との引き継ぎ期間を十分確保する、③異動にあたり保護者に配布する手紙について特別専科教諭であることを丁寧に説明するよう校長を指導することを確認しました。その他、自校通級に関することや渡日来日の児童生徒に対する対応などの質問がありました。



== 第418回中央委員会 ==

10月10日、大阪市教育会館で第418回中央委員会が開催されました。議長に大園中央委員（西部支部）と中世古中央委員（北部支部）が選出され、議事が進められました。松岡委員長は冒頭の挨拶で、市労連と市当局との団体交渉において、市人事委員会勧告については完全実施するよう申し入れを行うとともに、賃金確定期に向けて精力的に交渉・協議を積み重ねていくと述べられました。また、先日行われた全市分会代表者会議の内容についても報告がありました。その後、執行部より経過報告と当面の闘争方針についての提案があり、質疑応答では、東部支部・富中中央委員より特別専科教諭について、万博を下見した後に行事をキャンセルした場合、入場料の返金を求められることについて質問がありました。討論には2人が参加し、各専門部の取り組みについて報告がありました。採決では執行部原案が圧倒的多数の賛成により、可決・承認されました。（討論内容は以下のとおり）



武田中央委員（事務職員部） 9月25日に事務職員部委員会を開催し、学校事務職員の人事異動方針を含めた当面の闘争方針が全会一致で可決。組織強化拡大に向けて11月16日に「スポーツフェスティバル」を予定。組合員の家族を含めたさまざまな年代の組合員と交流を深めることができると考えています。教文活動は未加入で経験年数が少ない学校事務職員にも伝わるような内容を検討し、実施に向けて活動をすすめています。



戸田中央委員（女性部） 女性部は産休・育休から復帰される方を対象にカムバックセミナーを開催しています。権利の話では、様々な働き方や給与について詳しい内容が聞けるので、セミナー終了後も個別で相談される方がたくさんいます。先輩教員からは復帰するときの不安な気持ちや、「電動自転車を買った」など準備したものについてのお話も聞けます。今年は12月7日（土）に開催しますので、各分会での積極的な呼びかけをお願いします。

カムバックセミナーを開催します！

- ◇ 日時：12月7日（土）10:00～12:00
- ◇ 場所：大阪市教育会館
- ◇ 対象者：現在、育児休業を取得している市教組組合員
- ◇ 内容：権利の学習、先輩教職員による体験談、復帰にあたっての相談
- ◇ 申込：11月22日（金）までに市教組へご連絡ください

10月の組合費の引き落としは

10月21日（月）

※働きがいのある職場を実現するため、なかまの声かけて組合員を増やしましょう！

広報部メモ

教員14人の小さな職場で3人の仲間が現場から離れてしまう。夏休み明け、やっと講師の方が1人来てくださったが、マイナス2名の状態が続く。「えらいこっちゃ」とあちこちで話をすると、組合の仲間から紹介があり、10月から一緒に働くことになった。また、組合に助けられた。仲間とつながっていてよかった。そして、困ったことは声に出すことも大事。（K）

第417回中央委員会・・・白熱！6本の討

9月19日、大阪市教育会館で第417回中央委員会が開催されました。議長に南部支部・韓中央委員、西部支部・大藪中央委員が選出され、議事が進められました。執行部より「当面の闘争推進に関する件」「2024年度末人事異動ならびに2025年度教職員定数改善に関する要求書」の提案がありました。質疑はなく討論には6人が参加し、専門部や支部・本部の取り組みについての報告がありました。採決では、執行部原案が圧倒的多数の賛成により、可決・承認されました。(討論内容は以下のとおり)



大岸中央委員(東部支部) 東日本大震災についての授業を行った。すると1年生の児童が「ここは上町台地だから、地震がきても津波は来ないし安全や」と言ってきました。FWに行く前なら、「そうだね」と答えていたと思います。でもFWで学んだことを思い出しながら「地震で火事が起きたら？学校以外の場所に1人でいたら？上町台地以外の場所にいたら？」どうすべきだろう。子どもたちと少しですが、一緒に考えることができました。



高岸中央委員(南部支部) 南部支部は8/23に「わいわいパーティー」を開催。少数分会の参加も多く、分会内での盛り上がりだけでなく、他の分会との交流もありました。9/10には青年部学習会を開催。特別専科教諭の方や新採用の方々と意見交流をしました。特別専科教諭の方からは「年度途中で異動がありゼロからのスタートになる。同じ新採用でも違う。」との訴えがありました。組合員のつながりで不安を解消できたらと思います。



中世古中央委員(北部支部) 本校が万博に行くとしたら御堂筋線と中央線を使うことになります。朝の強烈なラッシュの中で安全に引率できるのか不安です。特別専科教諭については、本人も受け入れる側も困惑しています。その受け皿となれるのは組合しかない。50人が異動後どうしているかを把握し、サポートしていくべきだと思います。本来ならば初任校とともに学びながら、子どもと一緒に成長できたらいいのですが…。

松本中央委員(西部支部) 西部支部は8/24に西谷文和さんを講師に招いて、ウクライナ・ガザ・中東の戦争の現場から考えるというテーマで学習会を開催しました。9/7の市教組教研では「デジタル教材について考える」というテーマで分科会を開催しました。実際に子どもが使っているタブレットを操作しながら、できること、させたいこと、気をつけなれないけないことなど、参加者とともに考えることができました。



宮尾中央委員(事務職員部) 秋の組織行事について、万博の影響で昨年度まで使用していた舞洲の会場が使えなくなったが、実行委員会を中心に事務職員部で連携しながら会場を確保。親睦・交流、組織強化・拡大の理念のもと企画を始めています。11/29には組合員に有意義なテーマで研究する場を提供することを目的に学習会を開催します。今回は、事務職員部教文部が講師となり教育費予算についての学習会を行います。



戸田中央委員(女性部) 以前、新任の先生に「終戦はいつ？」と尋ねたら、答えられませんでした。9/7の市教組教研「平和教育」でも、報告者が「教員自身ももっと学ばなければいけない。」と言っていました。「教員が平和の大切さを子どもたちに伝えないと」との思いが大切だと思います。今まで実践してきた先輩方にアドバイスをもらい、どのようにしたら子どもたちに主体的に考えさせることができるかを話し合っていきたいと思います。



～さようなら原発全国集会～

「9.16 さようなら原発全国集会」が東京・代々木公園で開催され、約5000人が集会に参加しました。オープニングではシンガーソングライターの片平里菜さんが、ボブ・ディランの反戦ソング「風に吹かれて」の日本語版を含めて5曲を披露しました。



主催者挨拶に続いて、女川、福島、東海第二、柏崎刈羽の原発の地元で活動をしている各市民グループ、東京の環境団体、中間貯蔵施設(むつ)に反対している団体からの切実な訴えがありました。集会終了後、日教組は「NONUKES! Climate Justice!」や「命をつなく地球環境を」などのプラカードを手に、表参道から外苑前まで反原発を訴えながらパレードを行いました。

11.3 輝け憲法！平和といのちと人権を おおさか総がかり集会

◇ 日時：11月3日(日) 13:30～

◇ 場所：大阪市中央公会堂 1F 大集会室

◇ 内容

13:30～ オープニング「川口真由美とカオリンズ」ライブ

14:05～ 講演1「憲法入門～その歴史・意義と改憲論議を考えよう」
清水雅彦さん(日本体育大学教授・憲法学)

14:50～ 講演2「“ミソジニー”は家父長制に抗う女性への制裁欲」
小川たまかさん(フリーライター)

集会終了後、西梅田まで市民パレードがあります

ときどきコラム 書記長のひとり言

先日、原水爆禁止世界大会・報告集会に参加した。その報告者の一人に第27代高校生平和大使がいた。原水禁・スイス派遣について「高校生平和大使の活動は被爆の実態や被爆者の声を世界に伝え、核兵器のない平和な世界の実現を求める署名を届けることを目的としているが、各国が自国の安全保障ばかりを優先している、軍縮どころか軍拡が進んでしまう。全ての国が人間の安全保障を確立させた上で、違う意見の人とも対話していく必要があると感じた。これからも高校生平和大使のスローガン『微力だけれど無力じゃない』を心に刻み、活動していきたい」との報告があった。しっかりした考えを持っているなど感心した。大阪教組研究会場でも署名と募金活動を行っていた。10月11日、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を授与された。ともに活動していた彼女の喜びもひとしおだろう。さて、総選挙だが、私たちの一票も「微力だけれど無力じゃない」のではないか。どうせ変わらないと諦めてはならない。投票へ行こう！